

# 小型線量計・読取器

安心・安全な生活環境を確保するため、放射線量を精密に測定・監視

福島第一原発の事故では放射性物質による被害が甚大でした。携帯式の個人用放射線量計が開発され、東北各地域の自治体に配布されたことで、リアルタイムに線量率を把握することが可能になりました。

## 住民用モニタリングD-シャトル



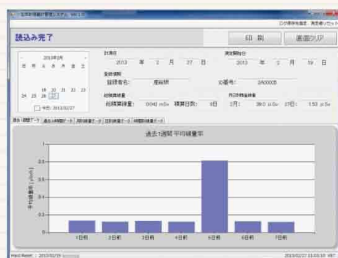
産業技術総合研究所、(株)千代田テクノと弊社等が共同開発した「住民用モニタリングサービス D-シャトル」



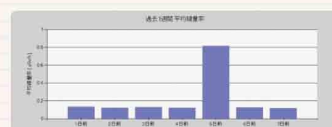
1日の積算線量が自分の目で確認できる

## 小型線量計管理システム

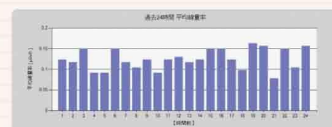
D-シャトルの使用期間中、いつでもどれくらいの線量があったかをグラフで確認することが可能



線量計管理システム画面



過去1週間の平均線量率グラフ



過去24時間の平均線量率グラフ



月別の平均線量率のグラフ

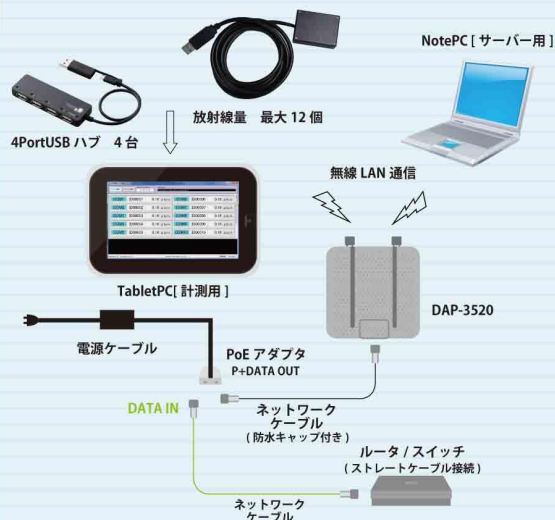


日別の平均線量率のグラフ



## 放射線量監視システム

放射線量計からのデータをリアルタイムに監視



COM1	ID00001	0.16	μSv/h	COM6	ID00006	0.16	μSv/h
COM2	ID00002	0.16	μSv/h	COM7	ID00007	0.16	μSv/h
COM3	ID00003	0.16	μSv/h	COM8	ID00008	0.16	μSv/h
COM4	ID00004	0.16	μSv/h	COM9	ID00009	0.16	μSv/h
COM5	ID00005	0.16	μSv/h	COM10	ID00010	0.16	μSv/h

放射線量データ送信画面



放射線量グラフ画面